

議会要望に対する回答（第15回議会報告会関係）

要望事項：地域と市の意見交換の実施と連携強化について

要望内容	宮古市回答
<p>市民より「政策がどのように決まっているのか見えてこない。市は議会報告会のように市民の声を聴く機会を設けるべき」との意見があった。</p> <p>また、「高齢化の進展により自治会・町内会における地域活動ができなくなってきており、行政に地域の実情、課題を理解してもらい、地域と行政の役割・連携を率直に話し合う場を持って欲しい」との意見もあった。高齢化と人口減少などの進展により、地域活動を担う人材がいなくなり、行政に対する様々な要望や支援を求める声が増加している。一方で行政側も限られた職員数と財源の中で十分にしきれない状況にある。</p> <p>このような中で地域や市民との協働、参画は、市にとってますます重要なまちづくりの課題となっている。</p> <p>については、地域コミュニティや行政が抱える課題の共有と相互の果たす役割等の理解を深め、今後のまちづくりをともに考え、連携を強める機会とするよう、地域や市民との意見交換の場の設定について検討を要望する。</p>	<p>市では、私の提言「市長への手紙」のほか、自治会や団体等からの要望をお受けし、広く市民からご意見やご提言をいただいております。</p> <p>令和元年度は、私の提言「市長への手紙」139件、自治会や団体等からの要望が13件ありました。</p> <p>令和2年度においては、さらに幅広くご意見やご提言をいただくため、宮古、田老、新里、川井の4地域でタウンミーティングを開催し、市民との意見交換の場を設定してまいります。</p>